

JR福知山線脱線事故の経営責任を追及し 不安全な企業体質を一新する！

事故を風化させてはならない！

JR西労が集会を開催！

JR東海労から20名参加

JR西労は、福知山線脱線事故から3年半を迎えた10月25日、改めて経営幹部の責任を追及し、企業体質を一新するための集会を開催しました。集会には、JR東海労からも共に闘う立場で、新幹線関西地本の仲間たちを中心に20名を超える組合員が参加しました。



本部からも小林書記長が参加し、JR東海でいまだに続く、教育ならざる日勤再教育の実態や、浜松工場、あおなみ線で連続して発生した脱線事故などについて報告し、今こそ労働組合としての安全確立の闘いが重要であるとの認識に立ち、共に闘う決意を明らかにしました。

さらに集会では、遺族からのビデオレター紹介やニュースキャスター大谷昭宏氏の講演を受けるなど、事故を風化させず安全確立の闘いを職場から闘うことを参加者全体で誓い合いました。

R 福知山線脱線事故の経営責任を追及し
不安全な企業体質を一新する集会



挨拶する田村委員長



職場実態報告座談会

何故問われぬ！最高責任者・井手元相談役、
南谷元会長、垣内元社長の経営責任！